

## ふれあい記録

実施日：令和 8 年 6 月 19 日

当番者名 船橋エイ子 江口正彦 齋藤國男

コース名：塚山公園から大楠山・湘南国際村(前田川改)

(通し番号 第 2 1 7 回)

天 候：晴れ

参加者名：石井 公子、江口 正彦、神谷 順子、熊谷 信雄、新海 昭、田中 宏巳、鶴岡 重典、西村 寿文、細矢 清志、松本 壮一郎、宮原 宏至、八角 真弓、和田 龍子  
<ビジター> 岩崎 宗郷、氏家 敬子、齋藤 國男、山腰 策次郎  
計 17 名 (内、男性 12 名 女性 5 名) (五十音順)

交 通 (時刻)：京急按針塚駅改札 8 時 50 分集合

<往路> <電車> 金沢文庫駅発 <普通> 8 時 34 分⇒按針塚駅着 8 時 44 分

コースタイム (時刻)：距離 9.2km 上り 499m 下り 364km)

9:00 按針塚駅 <トイレ>⇒9:30 塚山公園散策 <トイレ> 9:45⇒横須賀インター前 10:40⇒池上住宅入口 10:50⇒阿部倉町内会館前 10:55⇒大楠山登山口 <トイレ> 11:10⇒大楠山山頂 12:30 昼食 13:00⇒大楠平 <トイレ> 13:20⇒下山 13:25⇒湘南国際村バス停 14:30

<復路> <バス> 湘南国際村バス停 <京急逗子・葉山駅行> 14:50⇒逗子葉山駅 15:20⇒解散

みどころ：

**塚山公園** 安針塚駅からすぐのコモンヒルズ按針台用エレベータを利用して尾根上のマンション群へ、緑地が美しく整備され春の季節はずばり花見ハイクと言うところ。今回は青葉茂れる木々に圧倒され大きく深呼吸。港の見える公園の展望台は標高 133m、遠く房総、ランドマークタワー、近く猿島。そして横須賀軍港が目の先。原潜、空母をはじめ居並ぶイージス艦、前面の海には今まさに戦場に向かう艦船のオンパレード。緊張感、免れず。軍港近く故、集合した駅はなんと先の戦時中駅名が軍需部前駅 <1934s9> であり、按針塚駅 <1940s15> に改名とか。消えた駅名は他に横須賀軍港駅 <汐入>、鳴神 <キスカ島> 駅 <新大津> 等々。平和な世の慰めは園内の"按針塚"への墓参。三浦按針 <英国人 William Adams1564~1620> ゆき夫妻の供養塔に手を合わせる。もっとも家康の外交顧問であった按針は関ヶ原の戦いに大砲を供給した張本人とか。特需は古今東西のこと、軍需品外交に長けた人物のよう。名の三浦 <知行地> 按針とはコンパス <方位計、羅針盤> の意であり、航海士、水先案内人をさす。長崎県平戸にて没し、その地の外国人墓地に葬られた。

**大楠山** 三浦半島最高峰。塚山に 108m 加えた標高 241m。塚山で苦使した脚に鞭打ち、七つある登山道のうち阿部倉温泉側よりスタート。コース途中は横横道路に無残にも切り取られた山々をしり目にそのトンネルの手前に温泉宿。町内会館付近の道標になぜか"諏訪の湯"と案内されている。調べてみるとこの地の鎮守様"諏訪神社"および僧行基"に関連あり。道中、脚を痛めた本人が神に治癒を祈ると付近の沢に鉱泉 <霊泉、冷泉> が湧き出たとのこと。よって"諏訪の湯"とか <伝> 鎌倉、室町、戦国、江戸のころ湯治場として発展。腰痛に悩まされている方、湯治?いかがでしょう。苦勞の末どうにか登頂。やはり 100m の差(塚山比)はパノラマ度が違う。雲無ければ、遠く富士を眺め相模湾、東京湾双方が競って展開しているのは絶景。大楠山は以前 242m であった標高が現在 241m に変わったということ。砲台跡と思われる場所の下部が風化により 1m えぐられているための訂正とか。難しい話

です。しかし三浦半島を東西に横断することは大変なことです。下山後国際村バス停にたどり着いた時は、脚が“三重県” ？

**自然観察：**

里山の植物：ネジバナ、コバンソウ、ねむの木、ミズヒキ、アガパンサス、ヤマユリ等  
昔々 横須賀、三浦、横浜はヤマユリの宝庫、子供のころいたずらに球根を焼いて食べました。

**特記事項：**

- ・ 高齢者は適宜＜安全道＞選択 ・ 坂道歩行時、要前後の間隔
- ・ 計画時は、大楠山の下りコースは前田橋コースとしたが、6月5日の横須賀市の Web 情報で、土砂崩れの為この前田橋コースと芦名口コースの2コースが通行止になっていることが判明し、急遽湘南国際村コースに変更した。
- ・ 当初天気予報から18日（木）の実施を決定しましたが、当日朝の予報と状況から天候が悪化の為中止とし19日に延期しました。

「ふれあい記録」メール送り先：江口・熊谷